

JEFMA活動

燃料電池実証設備を見学



荏原・苫小牧燃料電池
実証設備を見学する一行

平成14年度第2回施設見学は、9月2日北海道苫小牧市の荏原製作所下水汚泥消化ガス利用燃料電池設備実証設備を対象に行った。岡山大学環境理工学部教授田中 勝先生を座長に会員会社から22名が参加した。現地では荏原製作所新エネルギー事業本部の森部長に燃料電池についての説明、実証設備の見学案内及び参加者との質疑応答を担当していただいた。

本設備は燃料として下水汚泥のメタン発酵による発生ガスを精製し利用するもので、燃料電池は250kW級固体高分子型(PEFC)ユニットが使用されている。本設備は2001年9月からフィールドテストを開始しており、現在までの運転時間は3200時間、平均出力130kWを達成している。

東南アジアに調査団

当工業会の国際環境整備研究委員会（萩原委員長（石川島播磨重工業㈱））は最近の東南アジアにおける環境政策の動向、廃棄物処理の現状等を調査する目的で、9月19日から24日の6日間バンコック及びクアラルンプールへ調査団を派遣する。調査団は萩原委員長を団長とし、同委員会会社から13名が参加する。